

〔長野県植物誌 資料 XI〕

「レポート 日本の植物」に掲載されたフロラ関係文献目録

横内文人

「レポート 日本の植物」は、奥山春季氏が監修し、1(1979年9月)から40(1992年12月)まで発行された。同氏の前報(植物採集ニュース)同様にフロラ、分類、地理等である。

本稿には、長野県の花関係の記事を主として取り上げた。通しページ(号数：発行年月)、テーマ、著者名の順に記す。

- 44(5：1980.7),イヌアワ長野県に産す(丸山利雄)
- 51(6：1980.10),長野県信州峠湿地の植物(植松春雄)
- 59(7：1981.1),信州に現われたミミイヌガラシとヒメハルガヤ(斎藤吉永)
- 59(7：1981.1),ヒトツバイチャクソウの新産地(武井尚)
- 66(7：1981.1),ヒトツバイチャクソウのルーツ(奥山春季)
- 71(8：1981.3),セツブンソウの花の変異(奥原弘人)
- 79(9：1981.6),新帰化植物ヤコブコウリングク(斎藤吉永)(補記,奥山)
- 92(10：1981.9),越後と信州のムカゴをつけたタマガワホトトギス(土屋守)
- 111(12：1982.1),チクマハッカ見聞録(斎藤吉永)
- 114(12：1982.1),長野県でムラサキの多産地を見つけた(斎藤吉永)
- 122(13：1982.4),ハイイロヨモギ雑報(斎藤吉永)
- 129(14：1982.7),蓼科高原の植物(長谷川義人)
- 157(17：1983.4),信州蓼科山麓のエンビセンノウとホソバツルリンドウ(斎藤吉永)
- 192(20：1984.1),ヤコブコウリングクの第2産地も信州(斎藤吉永)
(21より改頁)
- 1(21：1984.5),ハイキンボウゲ,長野県最南部に帰化す(小林元男)
- 19(22：1984.9),北軽井沢石田野草園由来記(前田優子)
- 29(23：1984.12),千曲川源流の植物(岩田豊太郎)
- 79(28：1986.3),タチスミレとタデスミレ(斎藤吉永)
- 97(30：1986.10),ナンブワチガイ *Pseudostellaria japonica* が長野県富士見高原に分布する(奥山春季)
- 100(30：1986.10),クロバナウマノミツバの長野県の新産地(奥原弘人)
- 102(30：1986.10),長野県下のショウキランの多産地(斎藤吉永)
- 103(30：1986.10),御座山を中心とした南佐久・北相木村の植物(武井尚)
- 165(37：1988.10),タカネヒカゲスゲ日本に産する(初島住彦)